

財政状況等一覧表（平成20年度決算）

(単位:百万円)

団体名 府中町

繰上収入額等	普通交付税額	臨時財政対策債(繰上収入額)	繰上収入額
9,402	-	432	9,834

1. 一般会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
一般会計	12,514	12,396	118	78	68	15,939	
土地取得特別会計	0	0	-	-	-	-	
一般会計等	12,452	12,335	118	78	-	15,939	

※「一般会計等」の数値は、各会計間の繰入・繰出などを控除(純計)したものであることから、各会計間の合計額と一致しない項目がある。

2. 公営企業会計等の財政状況

(単位:百万円)

会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額・不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
下水道事業特別会計	2,670	2,668	2	0	841	9,804	6,951	
国民健康保険特別会計	5,058	5,058	0	0	328	-	-	
介護保険特別会計	2,480	2,422	58	58	364	-	-	
老人保健特別会計	444	444	-	-	-	-	-	
後期高齢者医療特別会計	469	468	0	0	90	-	-	
公営企業会計等計				58		9,804	6,951	

- (注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法の全部又は一部を適用する公営企業である。
 2. 法適用企業会計以外の特別会計については「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「形式収支」を表示している。
 3. 「資金剰余額/不足額(実質収支)」は、地方公共団体財政健全化法に基づいたものであり、資金不足額がある場合には負数(△)で表示している。
 4. 「左のうち一般会計等繰入見込額」は、企業債(地方債)現在高のうち将来負担比率に算入される部分の金額である。

3. 関係する一部事務組合等の財政状況

(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額・不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
安芸地区衛生施設管理組合(一般会計)	578	560	19	19	35	-	-	
安芸地区衛生施設管理組合(国民健康保険特別会計)	1,241	1,193	48	48	-	2,418	1,028	
安芸地区衛生施設管理組合(介護保険特別会計)	15	15	-	-	15	-	-	
広島県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	1,154	1,014	140	140	-	-	-	
広島県後期高齢者医療広域連合(特別会計)	272,816	270,936	1,879	1,879	1,015	-	-	
広島県市町総合事務組合(公務災害補償)	77	62	15	15	-	-	-	
一部事務組合等計				2,101		2,418	1,028	

4. 地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況

(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債権原簿に添付債務残高	当該団体からの債権原簿に添付債務残高	一般会計等繰入見込額	備考
府中町土地開発公社	7	130	5	-	-	1,656	-	202	
府中町開発公社	0	22	2	-	209	-	-	400	
地方公社・第三セクター等計			7	-	209	1,656	-	602	

(注) 損益計算書を作成していない社団・財団法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を表示している。

5. 充当可能基金の状況

(単位:百万円)

充当可能基金名	平成19年度決算 A	平成20年度決算 B	差引 B-A
財政調整基金	1,410	1,519	109
減債基金	-	-	-
その他充当可能基金	572	660	88
充当可能基金計	1,982	2,179	197

(注) 「充当可能基金」とは、基金のうち地方債の償還等に充当可能な現金、預金、国債、地方債等の合計額をいい、貸付金及び不動産等を含まない。

6. 財政指標の状況

財政指標名	平成19年度決算 A	平成20年度決算 B	差引 B-A	早期健全化基準	財政再生基準	資金不足比率(公営企業会計名)	平成19年度決算 A	平成20年度決算 B	差引 B-A
実質赤字比率	1.85	0.79	△ 1.06	△ 13.36	△ 20.00	下水道事業特別会計	-	-	
連結実質赤字比率	2.77	1.38	△ 1.39	△ 18.36	△ 40.00				
実質公債費比率	16.8	14.9	△ 1.9	25.0	35.0				
将来負担比率	161.1	145.6	△ 15.5	350.0					
財政力指数	1.00	1.07	0.07						
経常収支比率	90.2	94.0	3.8						

- (注) 1. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は負数(△)で表示している。
 2. 「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は、収支が黒字の場合には便宜的に当該黒字の比率を正数で表示している。
 3. 早期健全化基準に相当する「資金不足比率」の「経営健全化基準」は、公営競技を除き、一律 △20%である(公営競技は0%)。
 4. 「早期健全化基準」及び「財政再生基準」は平成20年度決算における基準である。